

前進に著実な着実な前進!

「勤労第35回
全国大会」以降

総破綻の勤労全国大会...とは裏はらに
活発な取場討議が煮つまる!

運動へのセクト色を一段とエスカレートさせ、当局の御用組合に
なりさがりつつある勤労、ますます悪くなり我々の指摘したとあり
反合同争すら放棄して右傾化する一方の勤労...
動力車人としての誇り、どんなに苦しかろうと「叩いて未来を切
り拓く」勤労の魅力、それが今、永遠に葬り去られようとして
いる!!
「勤労は今、一体どこへ行くか?」...こんな事
でよいのか?」いや、これではだめだ。何とかしなければならな
い!!」勤労の現状と未来を憂える真面目な叩う人たちが、今、
全国でやむにやまれず決起を開始した。
「勤労第35回全国大会(熊本)」は、まさにそれを如実に突き出した
のであった。

『勤労改革』全国大会『問題を
めぐり、真剣な討論!

勤労千葉の全支部では、執行部を
先頭に「全国大会方針」に関する討
論が全員で真剣にくり返された。
とりわけ、支部未結成の銚子・佐
倉においては、これまでの状況に加
えて、「全国大会(熊本)」の状況を
見て最終的な判断をしようという
声もあり、全国大会以降かつてない
真剣な熱い討論が取場で、家庭
でおこなわれ、支部全体の進むべき
道が煮つめられ、煮詰まってきた。

8月20日 取場集会で
銚子支部 大きく前進!

それ以来が真剣に考え、前進のた
めの苦闘を続けていた支部では、
八月二〇日に銚子支部取場集会を
はじめ、佐倉においても日常取場にお
ける相互討論などが活発に進められ
てきた。討論の軸は、もちろん全国
大会での「右傾化方針」「欠陥執行
部」問題をはじめ、取場の仲間の信
頼を踏みにじる様々一部少数の人間
の、特別代議員・傍聴と称する全
国大会参加、発言問題に集中し、現
状の「無権利状態」をなんとかして

早期に克服せんと、総体として勤労
千葉への結集の声がより大きく湧き
上ってきたのははじめ、あらゆる意
味で着実に前進している姿を浮きぼ
りにした。

8月23日 セクト丸出しの本
佐倉支部 『オルグ団』を激しく追及

このような中で、8月23日に佐倉
「オルグ」に入った責任者「藤井中執・
芳原某などは「全国大会報告」と称
して「水本運動」のみしやべりちら
すというくさり切った「オルグ」を行
い、佐倉の取場の多くの組合員から「
何をしに来た」「偏見」「そんな事
ばかり言っているから勤労からはな
れるんだ」などの追及を受け、たじ
たじの一幕もみられ、「これがオルグ
の実態」である事をさらけ出した。

日に日に焦り、孤立する一部密通
反動分子を粉砕し、支部結成へ!

佐倉・銚子の仲間の怒力を踏みつ
けにした無責任な極少数の反動分子
は、仲間からの追及にうちみしかれ
日々孤立を深めている。「全国大会」
問題のみならず、日常活動・財政・
共済・サークル等々全面的討論を更
に深めて、支部結成を一日も早くか
ちとるために共に全力を尽くしていこう